

## 高砂市民憲章



謡曲にうたわれ、相生の松で知られる私たちのまちは恵まれた自然のなかで、古くから栄えた歴史と伝統をもつまちであります。

ここに生きる私たちは、自然を愛し、郷土の平和と繁栄を願い、市民としての誇りと自覚をもって、この憲章を定めます。

- 健康で活みなぎる明るいまちをつくりましょう
- 奉仕と感謝を忘れぬ暖かいまちをつくりましょう
- 教養を深め文化のかおる豊かなまちをつくりましょう
- 緑に親しみ青空のある住みよいまちをつくりましょう
- 夢と希望を育てる楽しいまちをつくりましょう

## ブライダル都市高砂宣言



「高砂やこの浦舟に帆をあげて・・・」と古くからめでたい謡曲としてうたわれ親しまれた「高砂」ゆかりの地

平和と長寿の象徴である「尉と姥」のいわれの発祥の地

それがわたしたちのまち「高砂」です。

わたしたちは、祖先から引きついできた由緒あるまち「高砂」を誇りとしています。

人と人が出会い、愛し合い、信じ合い、そして、そこに新しいものが生まれる。

わたしたちは、そのような瞬間を大切にしたいと思っています。

わたしたちは、健康で明るく生きがいのあるまちづくりを目指しています。

そして、いま新たに、「ブライダル都市宣言」として、人々の幸福と平和のシンボル「高砂」を築いていくことを決意し、ここに宣言します。

昭和63年7月1日

高砂市

## 核兵器廃絶平和都市宣言

核実験、核兵器の使用が人類を破滅に導くことは必至であり、その唯一最大被害者たる日本国民は凄惨な原爆災痕を世界各国に認識せしめてきたのである。

しかしながら、今日なお世界の動きは、核兵器の製造、実験が繰り返され、国際情勢も極度に緊張を加え、核戦争の危機をはらんでいることは、まことに憂慮すべきことである。

私たちはこのような、人類を脅かす核実験、核戦争の禁止を求め、人類の幸福と平和を念願するものである。

ここに高砂市は日本国憲法の平和精神に基づいて、核兵器の廃絶を誓う全世界の人々と相携え、永久平和確立のため「核兵器廃絶平和都市」であることを宣言する。

昭和57年6月14日

高砂市